

令和4年度 事業報告

令和4年度は、依然としてコロナ禍が続いている中、ウクライナ侵攻等の影響により、急激な円安と物価高騰により、日本経済はもとより私たちの生活にも大きな影響がありました。

このような中、国においては、人口減少、少子高齢化が進展している中、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現を強く求めています。

当町においては、65才以上の割合が令和5年3月末31.8%、昨年より0.3%増加しています。また、当センター会員の平均年齢は75.6才、75才以上の占める割合は、53.4%であります。シルバー人材センターは、地域社会の支え手として、就業機会を提供することにより高齢者の「居場所」と「出番」をつくり生涯現役社会の実現を果たす役割を担っており、大変重要と考えています。

こうした中、当センターでは、中期計画に基づき新規会員の加入促進および退会の防止に努めた結果、令和5年3月末の会員数は249人、昨年度より10人の増となりました。事業状況については、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響を受けましたが、会員のご協力により、事業契約額85,035千円、前年比105.1%、4,133千円の増となりました。しかしながら、派遣契約額は、受注減および会員の健康上の理由により、19,975千円、前年比80.6%、4,803千円の減、前年度と比較しますと契約額全体で、105,011千円、前年比99.4%、670千円の減となりました。

当センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員と役職員が一丸となって、地域社会に貢献するとともに、町、関係者のご支援を賜わりまして事業推進に取り組んでまいりました。

以下、令和4年度の事業実績状況をご報告申し上げます。

